

東濃5市の連携と活性化

災害食

地域への愛着

中部大の
コラボ商品

現代食への開発

地域に根付いた食の活用
安心できる食の活用

伝統食の継承

○調査

※東濃地域の食文化の継承と活性化に連携

活動の柱

①食文化から地域特性の整理

- ・自然環境
- ・コミュニケーション(伝承)
- ・地域の食材の活用
- ・地域の文化・行事食とのつながり

②地域特性の共有化(食育)

- ・食育の媒体作成
- ・幼児への食育の実施
- ・保護者への効果

活動内容

①文献調査

②聞き取り調査

- ・一般家庭
- ・食生活改善推進員
(恵那市食生活改善連絡協議会)
- ・行政
(岐阜県健康福祉部保健医療課)
(恵那市農林部農政課)

①動画作成

②幼児の視聴

③保護者へのアンケート

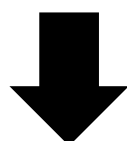
④保育士からのコメント

2022年度 活動予定

- ・食育の媒体作成(パンフレット)
- ・消費者・生産者との交流
- ・2021年度の活動の継続

保健所・保健センター

災害時の栄養士の役割予想：現状把握、要支援者に対する支援、栄養指導 など



ネットワーク形成（自治体、大学、地元企業）



支援物資、伝統食などを
活用した献立作成・調理実習
フェーズを意識した栄養管理

啓発活動

家庭レベルでの備えに対する
啓発活動の支援



災害時に
活躍できる
管理栄養士
の育成



災害食の開発（レトルト、缶詰）

伝統食（地元の食材）
たんぱく質・野菜・果物
アレルギーフリー、ハラール
ユニバーサルフード



心の栄養補給

災害食のパッケージにメッセージ
QRコードを活用した食の悩み
相談など

